

連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生研究センター 〒456-0002 名古屋市長久区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F
 TEL (052) 684-0003 FAX (052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

＜第83回全国産業安全衛生大会参加報告＞

(大会開催概要)

開催日時：2024年11月13日（水）～15日（金）

開催場所：広島県立総合体育館ほか

参加者：全国より約9,100名

大会初日、広島県立総合体育館で総合集会が行われ、第一部の開会式では、山崎聡志中災防副会長による開会の辞に始まり、十倉雅和中災防会長による大会式辞（ビデオ）、田中誠二厚生労働審議官、室伏広治スポーツ庁長官（ビデオ）、玉井優子広島県副知事、荒神原政司広島市副市長によるご祝辞、開催地の吉永浩之広島県労働基準協会会長による挨拶がありました。

続いて、産業安全衛生活動の推進に功績のあった企業個人に対する表彰式が行われ、その後大会宣言が採択されました。



第83回全国産業安全衛生大会に参加して

■ 車両基地の安全性向上と災害防止策を聴講
 白谷 理事（全トヨタ労働組合）

昨年に続き、全国産業安全衛生大会に参加させていただき、いろいろな講義一つ一つに感銘を受けました。特に私が印象に残っているのが車両基地の安全性向上と災害防止策です。

いくつもの加盟組合が実施している、リスクアセスメントのやり方、細かい心理状況を詳しく解説いただきました。全トヨタ労働組合でも各加盟組合からくる災害速報を、今期からリスクアセスメント実施していただき提出していただくようにしました。

それにより各委員長も災害の重度を一目でわかり、なにをすべきか等、わかるように見える化しました。発生した災害からリスクを学び、今後も未然防止、0災害を目指していきます。

今回の全国産業安全衛生大会に参加させていただきとても学び・気づきがありとても大切な時間になりました。



第二部では、井内努厚生労働省労働基準局安全衛生部長による講演「労働安全衛生行政の動向」、Deportare Partners代表/元陸上選手の為末大氏による特別講演「熟達しつづけるために」が行われました。

愛知労働局管内死亡災害発生状況（令和6年11月26日 現在の速報値）
※（ ）内は交通事故による死亡者数で内数である。

業種	年別	令和6年速報値	令和5年同時期(速報値)	令和5年確定値
製造業	食品製造業	5 (1)	8	8
	化学工業		3	3
	鉄鋼・非鉄金属	1		
	金属製品	2 (1)		
	一般・電気・輸送用	2	5	5
	その他	7 (2)	3 (1)	6 (1)
建設業	土木工事業	4	3 (1)	6 (1)
	建築工事業	3 (2)		
	その他の	2	8 (2)	10 (3)
陸上貨物運送事業	卸売業	7 (6)	3 (1)	4 (2)
	小売業	6 (5)	1 (1)	2 (2)
	その他の	1 (1)		
	清掃・と畜業	2	4	4
上記以外の事業	上記以外の事業	3 (1)	2 (1)	3 (1)
	合計	26 (10)	28 (5)	35 (7)

新任役員紹介

児玉 理事 ノリタケ労働組合 中央執行委員長

■ 組合目線による安全パトロールの実施

私たち労働組合は、すべての労働者が安全で健康的な職場環境の中で働くことができるよう積極的に安全衛生活動へ取り組むことが重要です。また、職場の安全衛生は組合員の命と健康を守るだけでなく、組織の持続的な発展にも寄与する重要な要素でもあります。

労働安全衛生法で義務付けられている「安全衛生委員会」は労使一体となって安全衛生活動に取り組むうえで重要な役割であり、この委員会を通じて労働災害の防止、健康被害の予防、労働環境の改善に取り組んでいます。

とはいえ、委員会の場で机を合わせて話し合うことも大切ですが、やはり作業する現場で現物を見て、現実を確認すること（3現主義）が最も重要です。そこで、労働組合では独自に「安全パトロール」を実施しています。この「安全パトロール」は巡視メンバー（組合役員）が『作業者の目線に立って作業の安全を確認する』を合言葉に工場巡視を行い、指摘改善を申入れます。安全パトロール実施前には、巡視メンバーの中で「電気系統」「挟まれ・巻き込まれ」「5S」など担当を決め、着目点を確認します。

また安全巡視の際は、参観経路からではなく安全に十分に注意し、作業者の近くまでいき確認することを心がけています。このような活動を通じ、危険個所の発見や職場への安全に対する意識付けはもちろんですが、組合役員の安全への気づきや意識を高める機会にもなっています。

今後も、「安全で健康な職場こそが最大の財産」であるという意識を組合役員から組合員全体に、さらには全労働者へと浸透させ、共通認識として持続的な職場環境の改善に引き続き取り組んでまいります。



児玉 理事

主催：中央労働災害防止協会 後援：厚生労働省

年末年始 無災害運動

令和6年度
年末年始無災害運動標語

今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も 無災害

2024
12/1
2025
1/15

全ての働く人々に安全・健康を - Safe Work, Safe Life -

中央労働災害防止協会 (中災防)
〒128-0014 東京都港区芝浦3-5-9
[TEL] 03-3462-6449 [E-mail] kcho@jishe.or.jp
お問い合わせ先 総務課 広報課

年末年始の災害防止を徹底しよう！

年末年始は慌ただしく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるよう安全衛生活動のポイントを紹介いたします。

非常時作業時の災害を防ぐ！

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常時作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備
作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定など監理会社や安全衛生担当部門関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して確認しましょう。

作業開始前ミーティング
作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。必要な保護具の着用の確認も忘れずに。

- 1 超動スイッチ等に密着。（参考）グループロックアウト方式：複数人がキーを持ち、全員のキーが抜ければ機械が起動しない方法
- 2 暗い場所は補助照明などで真正な視度を保つ。
- 3 動力を遮断し（電源を切り）、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」など目立つように表示する。
- 4 チェックリストなどを使って漏れなく点検、指定し持場で手順や安全の状態を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、**合図は大きな声でハッキリと決められた方法で**作業指揮者に報告

作業が終了したら…
無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどを元に戻して、作業場を整理・整頓、ヒヤリハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。

脚立作業のポイント

- 1 天板の上に立たない。脚立にまたがらない。
- 2 脚立は水平な安定した場所に設置する。
- 3 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止めの器具を確実にロックする。
- 4 高さ上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて姿勢を安定させる。つま先立ちは危険！
- 5 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 6 脚立は原則として2m未満のものを使う。

健康管理をしっかりと

冬は身体が冷える上、年末年始は生活リズムも不規則になりがちで、体調を崩しやすくなります。いつも以上に健康状態に気を付けて、免疫機能を高める工夫をしましょう。

- からだを温める
- 睡眠をしっかりとる
- 適度な運動
- バランスの良い食事を
- 体調が悪いときは無理しない

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、1971年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主催する運動で、本年で54回目を迎えます。